

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		令和元年7月11日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） サントリープロダクツ株式会社 代表取締役社長 伊藤昇 代理人 宇治川工場 執行役員工場長 喜田哲永	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1	
適 用 範 囲	清涼飲料水、乳飲料の製造	
導 入 年 月 日	平成15年 3月 2日	
認 証 番 号	EMS 510961	
基 本 方 針	5項目を環境マネジメントシステム（以下EMS）の推進により実行：①水のサステナビリティの追求②生物多様性保全への取り組み③「イノベーション」な3Rによる資源の有効活用④全員参加による低炭素企業への挑戦⑤社会とのコミュニケーション	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	炭酸ガス排出量抑制：CO2原単位 前年比4.6%削減（70.1→66.9kgCO2/KL）	
目標を達成するための取組の内容	全生産ライン（瓶、大ペット、缶、小ペット）の稼働率向上による無駄なエネルギーの使用量を削減し、生産数量を増加させる。	
目標を達成するための取組の進捗状況	各ライン慢性トラブルの抽出と対策案検討と実施。特に瓶ラインについてはプロジェクト活動実施。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画に沿って対策を実施していったが、生産工程のトラブル多発と缶ラインの週休2日生産により、生産数量が前年比より94.5%と減少した。瓶ラインはプロジェクト活動により稼働率が回復傾向にあったが、トラブル対応による保全・洗浄の増加によりエネルギー使用量（蒸気・電気）が減少仕切れなかった。3.6%削減（実績69.4%）。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規の遵守状況について1ヶ月に1回の確認を行っている。また、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 平成30年度は、現行の取組内容により一定の成果が見られたことから、平成31年度も同一のシステムにより運用予定。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。